

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	児童館事務管理事業			会計	款	項	目	大	小
				01	03	02	04	02	01
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	子ども家庭課				
施策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり		主管課長	熊井 彰				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	児童館・児童センターの利用者	意図	児童厚生施設として、児童に健全な遊びを与え、その健康増進や情操を豊かにすることを目的に事業を行うに当たり、円滑な運営を確保する
事業内容	児童福祉法に基づき、児童に健全な遊びを与えるために、市内7か所に設置された児童館・児童センターの円滑な事業運営を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	児童館は児童への健全な遊びを与え、児童の健康を増進し、または情操を豊かにすることを目的として設置されてきたが、近年は地域の子育て支援に拠点として役割を担うため、乳幼児向け事業も実施している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	年間延べ利用者数	148,451	143,594	143,528	人	↑↑↑	4月～3月の利用者の合計
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 南流山地区及びおおたかの森地区での転入者増加に伴い、幼児グループでは、思井児童センターの参加者が1.5倍に、また、ここにこサロンにおいては、十太夫児童センターで、利用者が年々増加している状況である。また、父親向けイベント等の実施により統計開始の11月から384人の男性利用があった。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		70,320,903	69,800,675	59,357,409				
事業費(b)(円)		13,775,903	14,158,675	12,378,409				
うち一般財源		13,775,903	14,158,675	12,378,409				
職員給与と費(c)(円)		56,545,000	55,642,000	46,979,000				
人役・職員(人)		6.00	6.00	5.00				
人役・再任用(人)		1.00	1.00	1.00				
人役・臨職(人)		10.00	10.00	9.00				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	引き続きおおたかの森地区及び南流山地区への移動児童館の実施し、利用者の増加を図る。	③取組における課題(Check)	転入者が増加しているおおたかの森地区及び南流山地区への児童館の設置要望が増えている。
②H30に実施した取組(Do)	移動児童館では、おおたかの森センターでの実施場所を大ホールに移し、少しでも多くの人々が利用できるよう、利用者の利便性を図った。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	南流山地区及びおおたかの森地区に移動児童館を実施するとともに、おおたかの森センターと連携して内容の充実を図る。